

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (13 : 30 ~ 15 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3 人	5 人	0 人	0 人	8 人

前回の改善計画

◇ はじめての利用者様に対して、安心してサービスを利用して頂けるような声かけをおこなう。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ 契約時、知人と同じ利用日や送迎時間をすすめるなど話をさせていただいた。
- ・ 利用初日には、同じ集落に住んでいるスタッフが対応するよう心掛けた。
- ・ 利用者様の知人には、体験利用ができることを話すなど利用をしていただけるようすすめた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5 人	2 人	1 人	0 人	8 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2 人	4 人	1 人	1 人	8 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3 人	3 人	1 人	1 人	8 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1 人	4 人	1 人	1 人	8 人

できている点

- ・ 施設の雰囲気に馴染んで頂けるよう、声かけや仲間に入れるようなレクリエーションをおこなった。
- ・ 昼食後の静養時間帯にミーティングをおこない、利用者ひとりひとり入浴やレクリエーション中の様子を報告して共有している。
- ・ 地元の話で和んで頂いている。

できていない点

- ・ 家族の方とお会いすることが少ないため、タイムリーなニーズを確認することが出来ていない。
- ・ 利用者様が離れて生活されているため、お会いすることがほとんどないので話ができない。

次回までの具体的な改善計画

◇ 家族や介護者の不安を受け止めることを心がけ、コミュニケーションのとれる体制づくり。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (13 : 30 ~ 15 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	6 人	1 人	1 人	8 人

前回の改善計画
◇ 職員全員が、利用者様ひとりひとりのニーズを把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・職員一人一人が、利用者様の思いを引き出すことをねらい接する。 ・事前に利用者様の情報を把握しておく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0 人	5 人	1 人	2 人	8 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1 人	4 人	2 人	1 人	8 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1 人	2 人	4 人	1 人	8 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2 人	1 人	4 人	1 人	8 人

できている点
・利用者様の希望に沿えるようなレクや運動を取り入れている。 ・できる限り個別活動の時間が持てるよう努めている。 ・連絡ノートを用いて、利用者様のニーズを職員全員が把握している。

できていない点
・ある人のニーズにあわせると、別の人のニーズにはあっていないという不合理が生じる。 ・本人の目標が、はっきりとわからず実践できていない。 ・職員も本人自身も目標に対するゴールが見えていない。

次回までの具体的な改善計画
◇ 利用者様の (短期・長期) 目標をしっかりと把握して支援をおこなう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (13 : 30 ~ 15 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	4 人	2 人	0 人	8 人

前回の改善計画
◇ 職員全員が、利用者様ひとりひとりの生活環境を把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・ 午後のミーティングにおいて、地域の情報を含め共有をはかることができた。・ 厳しい生活環境だとわかっているにもかかわらず、どうすることもできないケースがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0 人	3 人	4 人	1 人	8 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3 人	3 人	2 人	0 人	8 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2 人	4 人	1 人	1 人	8 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3 人	4 人	0 人	1 人	8 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3 人	4 人	0 人	1 人	8 人

できている点
<ul style="list-style-type: none">・ 利用者様の状態が変化した時には、職員全員が共有できるよう心掛け対応している。・ 同じ集落に住んでいるため、利用者様の生活を把握することができている。・ 利用者様ひとりひとりにあったサービスが出来ていると思う。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">・ 以前から利用されている方に今更聞けない雰囲気がある。・ デイサービスの利用頻度が少ない方は、わからない部分がある。・ 自分の住んでいる地区ではない利用者様の家族とは、少し話がしにくい。

次回までの具体的な改善計画
◇ 利用者様の自宅での生活環境を理解するため、職員全員が「以前の暮らし方」を 10 個以上把握する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (13 : 30 ~ 15 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	7 人	1 人	0 人	8 人

前回の改善計画

◇ 利用者様全員が、少しでも地域に関われるような取組みをおこなう。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・西浦地域づくり協議会の行事への参加。
- ・岬小学校生徒の交流会の実施。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1 人	4 人	2 人	1 人	8 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0 人	6 人	1 人	1 人	8 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1 人	3 人	3 人	1 人	8 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0 人	3 人	3 人	2 人	8 人

できている点

- ・ご自分で外へ出ることのできない方でも、送迎の途中で地域の方と挨拶や世間話をする事で、少しでも繋がっている。
- ・老人会や婦人会の方々と連携を密にしている。

できていない点

- ・利用者様全員の自宅で過ごし方を把握できていない。
- ・自分が住んでいる地域以外のことがわからない。
- ・地域の資源を十分に理解できていない。

次回までの具体的な改善計画

◇ いままで以上に地域との連携を密にし、運営推進委員との関わりを増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (13 : 30 ~ 15 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	3 人	3 人	0 人	8 人

前回の改善計画

◇ 小規模多機能型ならではのサービス提供を考え、実施する。

前回の改善計画に対する取組み結果

・利用者様が少しでも在宅生活が続けられるように、訪問・通所・宿泊の 3 つのサービスを提供する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2 人	2 人	4 人	0 人	8 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5 人	2 人	1 人	0 人	8 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5 人	2 人	1 人	0 人	8 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4 人	2 人	2 人	0 人	8 人

できている点

- ・本人様や家族の希望にあわせてデイサービスの時間を調整している。
- ・緊急の通所や宿泊希望も柔軟に受けられている。
- ・家族の事情に合わせ、サービスを提案させていただいている。

できていない点

- ・職員体制上、長期の宿泊サービスへの対応ができていない。
- ・火曜日のデイサービスは、利用定員に満たしているため受けられない。
- ・地域の資源を十分に活用できていない。

次回までの具体的な改善計画

◇ 新たな地域の資源を使って支援をおこなう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (13 : 30 ~ 15 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	2 人	0 人	8 人

前回の改善計画
◇ 1 つでも多く、地域や医療機関と関われるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
・利用者様の主治医と連携を密にするとともに、近郊にある医療機関の情報収集をおこなう。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0 人	3 人	4 人	1 人	8 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0 人	2 人	1 人	5 人	8 人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2 人	2 人	3 人	1 人	8 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1 人	2 人	3 人	2 人	8 人

できている点
・ 困難なケースは、地域包括センターへ相談している。 ・ 会議には参加できていないが、情報を頂くなど連携は取れている。 ・ 登録者以外の高齢者が、利用者様に会いに来て下さる。

できていない点
・ 地域包括センターの方にあつたことがほとんどない。 ・ 会議は、主任が出ているので出たことがない。 ・ 小規模は、施設内にケアマネがいることもあり、日々のミーティングしかできていない。

次回までの具体的な改善計画
◇ 職員ひとりひとりがネットワークを広げるため、外部の会議や研修に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (13 : 30 ~ 15 : 00)

7. 運営

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	3 人	3 人	2 人	8 人

前回の改善計画	
◇ 実利用者数 13 名以上を目標に利用者確保に努める。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・職員全員が事業運営に関心を持ち、事業所の‘広告塔’として利用者確保に努める。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1 人	2 人	3 人	2 人	8 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1 人	1 人	5 人	1 人	8 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1 人	3 人	3 人	1 人	8 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1 人	3 人	3 人	1 人	8 人

できている点	
・地域の住民として意見をいう事もある。 ・特に大きな苦情もなく運営ができている。 ・神子観光組合様との合同清掃活動をおこなっている。	

できていない点	
・地域の方からの意見などを上手く吸い上げていない。 ・事業所のあり方について、あまり深く考えたことがない。	

次回までの具体的な改善計画	
◇ 地域の方からの意見や要望を聞かせて頂く機会をつくる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (13 : 30 ~ 15 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	2 人	1 人	4 人	8 人

前回の改善計画	◇ 1 年をとおして、職員全員が何らかの研修に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・自ら、日々の業務にすぐ役立つ研修へ参加する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3 人	1 人	2 人	2 人	8 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2 人	1 人	3 人	2 人	8 人
③	地域連絡会に参加していますか	1 人	2 人	1 人	4 人	8 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0 人	3 人	1 人	4 人	8 人

できている点	・ 初任者研修をすべて受講することができている。 ・ 内部研修へ参加できている。 ・ 1 部だが研修を受講できている。
--------	---

できていない点	・ 新人職員の研修が優先されるため、なかなか研修へ行くことができない。 ・ 職員体制の都合で、長期の研修へ参加できない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	◇ 研修へ参加率を上げ、リスクマネジメントの勉強会を実施する。
---------------	---------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 28 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5 人	3 人	0 人	0 人	8 人

前回の改善計画
◇ 利用者様が施設におられる時、玄関に施錠をしない。
前回の改善計画に対する取組み結果
・小規模として、拘束するような行為をおこなわないよう努める。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8 人	0 人	0 人	0 人	8 人
②	虐待は行われていない	8 人	0 人	0 人	0 人	8 人
③	プライバシーが守られている	6 人	2 人	0 人	0 人	8 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2 人	3 人	0 人	3 人	8 人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6 人	2 人	0 人	0 人	8 人

できている点
・いままで身体拘束を実施していない。 ・宿泊サービス利用者には、夜勤で対応している。 ・徘徊される利用者様も個別対応できている。

できていない点
・成年後見制度について詳しくわからない。 ・プライバシーを守っているつもりだが、どこかで個人情報が漏れている。 ・個人情報の管理が少しゆるい。

次回までの具体的な改善計画
◇ 今後のことも考え、全職員が‘成年後見制度’について理解するよう勉強会を実施する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 若狭町社会福祉協議会	代表者	会長 山崎 和男	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・僻地診療、往診医と細かな変化も情報共有することを心掛け、連携の充実を図っている。 ・自宅での暮らしを継続するために必要な「自分で出来ている事」を維持できるよう、その人らしさを大切にしながら見守り、必要なお手伝いのみ行う事を心掛けている。
事業所名	小規模多機能ホーム みさき	管理者	渡辺 純子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	1人	人	人	4人	2人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は個々の職員が出来ているかどうかではなく、事業所として出来ているかどうかを評価するものなので、事業所として考え直すことにより、出来ていることが増えるのではないかと。 ・内部評価と外部評価を照らし合わせ、総合的な評価を行い、事業所運営に反映していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、気づいた「できている部分」の維持、「できていない部分」の改善に順次、取り組んでいく。 ・事業所のスタッフ全員のレベルが一定水準以上になるよう、意識を高く持ち、取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域の方が気軽に入れる雰囲気作りを努める	<ul style="list-style-type: none"> ・みさき通信を常神・神子・小川の75歳以上の高齢者が居られるお宅へ配った。 ・お試し利用や見学だけでも、気軽に利用して頂きたいと声かけを行い、結果、3名が体験や見学に来られ、内1名が利用に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議などの会議以外に出向く機会がなく、それ以外の状況がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族や地域の方を招いての行事や活動を企画し、足を運んでいただける機会を作る。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事に積極的に参加する	<ul style="list-style-type: none"> ・春：常神まつり、夏：浜掃除への参加、秋：防災訓練見学、冬：もちつき大会へ参加。 ・岬小や岬保育所との交流会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の行事などに良く参加していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事にも積極的に参加し、「福祉の相談窓口」としての機能をアピールする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	戸外での活動をできるだけ増やしていく	<ul style="list-style-type: none"> ・マリパーク、石観世音、レピアへの買い物、五湖でのお茶会など、少し遠出のおでかけの回数を増やした。 ・春や秋の天気の良い時は、お花見や散歩、外で景色を見ながら食事を摂った。 ・春など気候の良い時は、岬小学校の体育館を借りて、リハビリを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな所へ連れていってもらえており、ありがたい。 ・運営推進会議以外で地域の方を交えた会議があったかもしれないが、自分はそれに参加していない。 ・隣近所の人に送迎時に話を聞いたり、その人本人に関わっている人を交えた井戸端会議的なものでも良いのではないかと。こういった機会を大切に、みさき利用時では知り得ないその人の生活を知っていくことに繋がると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望を取り入れた戸外活動、交流の機会を増やしていく ・運営推進会議で知り得た、気がかりな方について、利用に繋がらなくても安否確認など見守る体制作りを努める。 ・利用者の地域での暮らしを支える近隣の方と会話する機会を持ち、みさき利用時では知り得ない、その人の「地域での暮らし」を知り、ニーズの発掘や問題解決に繋げる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	「小規模みさき」の認知度を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> ・みさき通信を配布し、小規模みさきの様子を知っていただけけるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に出て、いろんな事を知ったが、それ以外ではあまり話がなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で出た意見や提案・地域の課題について、地域に根差した事業所を目指し取り組む。
F. 事業所の防災・災害対策	避難訓練の定着化と地域との連携を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり協議会の防災訓練を見学 ・事業所独自の避難訓練を毎年9月に実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何度か避難訓練をされているのを知っているが、学校での避難訓練に参加したという話は聞いていない。 ・地域づくり協議会の防災訓練に参加していた。 ・事業所の防災計画は知らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の防災計画を把握し、自主避難訓練に活かす。 ・地域での避難訓練に参加する。 ・事業所の防災計画について、みさき通信等を通じて、地域に周知していく。